別図第三号　データパケットの配列

注1　データチャネルモードA5による例示である。

2　N_1+N_2（35ビット）は、データチャネルの列方向の幅を示す。

3　スーパーフレームにおけるフレームの番号は、送出順に付すものとする。

4　スーパーフレームにおける最初のデータパケットの第1ビットの書き込み位置は、フレーム(1)におけるフレーム行列の第1行、最小のデータチャネルの列番号の位置とする。

5　データパケットの第2ビットから第288ビットまでの書き込み位置は、先行するビットの書き込み位置の行番号及び列番号にそれぞれ1を加算した位置とする。ただし、加算した後の列番号が音声チャネルの領域となった場合は、その列番号を超える最小のデータチャネルの列番号の位置とし、行番号が32を超える場合は、次のフレームにおけるフレーム行列の第1行の位置とする。

6　次のデータパケットの書き込み位置は、先行するデータパケットの第1ビットの書き込み位置の列番号に1を加算した位置とする。ただし、加算した後の列番号が音声チャネルの領域となった場合は、その列番号を超える最小のデータチャネルの列番号の位置とし、列番号が57を超えた場合は、次のスーパーフレームの最初のデータパケットの位置とする。

○総務省告示第二百九十五号

標準テレビジョン放送（デジタル放送を除く。）に関する送信の標準方式（平成二十三年総務省令第八十八号。以下「標準テレビジョン放送の標準方式」という。）第二十一条第二項及び標準テレビジョン音声多重放送に関する送信の標準方式（平成二十三年総務省令第九十一号）第十二条第二項（標準テレビジョン放送の標準方式第二十三条第二項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、走査線内信号切替方式又は走査線転移方式による映像信号のスクランブルの手順、擬似乱数符号系列の生成方法、スクランブルに関するタイミング並びに関連情報の構成及び送出手順を次のように定め、平成二十三年六月三十日から施行する。

なお、平成十年郵政省告示第四百号（走査線内信号切替方式又は走査線転移方式による映像信号のスクランブルの手順、擬似乱数符号重畳方式による音声信号のスクランブルの手順、擬似乱数符号系列の生成方法、スクランブルに関するタイミング並びに関連情報の構成及び送出手順を定める件）は、平成二十三年六月二十九日限り廃止する。

総務大臣　片山　善博

一　走査線内信号切替方式による映像信号のスクランブルの手順

1　走査線内信号切替方式による映像信号のスクランブルは、プレエンファシスを行う前に行うものとする。

2　映像信号の切替位置を指定するための標本化周波数は、色信号副搬送波の周波数の四倍とする。

3　一走査線内の有効標本数（有効画面内の標本の数をいう。）は、七百四十四とし、四標本を一ブロックとする。

4　一走査線内の映像信号の切替点の数は、一とする。

5　映像信号の切替は、ブロックの境界で行うものとする。

6　スクランブルの秘匿度の制御（以下「効果制御」という。）は、別表第一号に示すとおりとする。

7　映像信号の切替位置の指定は、ブロックの番号により行うものとし、その指定方法は、別図第一号に示すとおりとする。

8　有効画面の標本位置及び付加標本位置は、別図第二号に示すとおりとする。

二　走査線転移方式による映像信号のスクランブルの手順

1　走査線転移方式による映像信号のスクランブルは、プレエンファシスを行う前に行うものとする。

2　転移する走査線の範囲は、第二十三走査線から第二百六十二走査線まで及び第二百八十六走査線から第五百二十五走査線までの有効画面部分とする。

3　転移順の指定方法は、別表第二号に示すとおりとする。

4　効果制御は、別表第二号及び別図第三号に示すとおりとする。

三　擬似乱数符号重畳方式による音声信号のスクランブルの手順

1　擬似乱数符号系列は、音声標本語にビットごとの排他的論理和の演算を行うものとする。

2　擬似乱数符号系列の演算の位置は、別図第四号に示すとおりとする。

3　効果制御は、スクランブルを行うこと又は行わないこととする。

四　擬似乱数符号系列の生成方法　擬似乱数符号系列の生成方法は、別図第五号に示すとおりとする。

五　スクランブルに関するタイミング　スクランブルに関するタイミングは、別図第六号に示すとおりとする。

六　関連情報の構成及び送出手順　関連情報の構成及び送出手順は、別図第四号に示すとおりとする。

別表第一号　走査線内信号切替方式における効果制御

効果制御方式	方式の内容	必要ビット数
擬似乱数符号系列生成器の初期値の生成器の初期値の方法	擬似乱数符号系列生成器の初期値は、更新時のみ1回ロードする（フリーラン）。 擬似乱数符号系列生成器の初期値は、フィールドごとに再ロードする（Vロック）。	1
分割又はシフト	切替位置指定の8ビットをビットごとにマスクする。	4

注1　（　）内は方式名を示す。

2　番組情報中の映像効果制御の内1ビットを用いて、フリーランであるかVロックであるかの指定を行う。

3　番組情報中の映像効果制御の内4ビットを用いて、分割又はシフトの16種類の指定を行う。